

# 令和5年度府中市立本宿小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

## 1 現状及び課題等

### (1) 学習改善の視点（児童の学び方）

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現
- ② 基礎的・基本的な学力の定着
- ③ 児童の学習習慣の確立

### (2) 指導改善の視点（教師の指導方法）

- ① 各教科における言語活動の充実
- ② 問題解決型学習における一単位時間の授業構成の工夫
- ③ 基礎基本の定着のための個に応じた指導

## 2 学校全体で目指す授業像

### (1) 目指す児童の学びの姿

- ・「本宿スタイル」で達成感を実感しながら学び続ける児童
- ・漢字、計算など基礎基本を身につけるために、ICTなども活用し反復学習をする児童。
- ・自分の課題意識をもち、家庭学習を進める児童

### (2) 目指す授業像

- ・自分の思いや考えを主体的に言葉にできる言語活動を取り入れた授業
- ・「本宿スタイル」（めあて・自分の考え・学び合い・まとめ）による授業構成を徹底し、問題解決学習を取り入れる。
- ・基礎基本を定着させるための効果的なICT（eライブラリーアドバンス）などの活用

## 3 学校全体で取り組む授業改善の具体的な取組

### (1) 各教科における授業改善のポイント【全学年共通】

<b>国語</b>	書く力の向上のために日常的に書く機会を増やし、児童の実態に応じて適切な指導時期や内容を明確にして系統的な指導を行う。言語環境を整え、言語活動を充実させ、語彙力の向上に努める。	<b>音楽</b>	音楽の構造に着目しながら、特徴や気づいたこと等を発表したり、友達と協働して活動したりする。曲の特徴にふさわしい表現について、それぞれの思いや意図をもち、音を合わせて演奏する技能を身に付ける。
<b>算数</b>	ICT機器を用いて個に応じた反復練習を行うことにより、基礎基本の定着を図る。「本宿スタイル」で授業を行うことにより、学び合いを充実させ児童の思考が深まるようにする。	<b>図画工作</b>	自他の作品や、美術作品などの鑑賞活動で話し合う活動を充実させ、見方感じ方を広げたり、深めたりして、児童のコミュニケーション力の向上を図る。
<b>社会</b>	必要な情報を読み取る力を高めるために、グラフや表を読み取る学習や資料を活用する学習を取り入れる。資料の吟味や提示方法の工夫とICTの活用により、社会的事象を身近なものに捉えられるようにして理解させる。	<b>家庭</b>	家族の役割について考え、家族の一員である自分を肯定的にとらえるようにする。生活場면을イメージさせながら、学び合うための声かけや心配りが必要なことを確かめながら楽しい実習にしていく。
<b>理科</b>	事象に対する予想・仮説を根拠をもって説明するとともに、観察・実験の結果に終始	<b>体育</b>	子供たちの思考を深めるために発言を促したり気付いていない視点を提示したりする

## 令和5年度府中市立本宿小学校授業改善推進プラン（学校全体の取組）

	せずに、そこから何が言えるのか、自分の考えをもち表現する力の向上を図る。		など、学びに必要な指導の在り方を追究し、必要な学習環境を設定する。
<b>生活</b>	自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付く、比べる、例えるなど分析的に考える活動や、試す、見通す、工夫するなど創造的に考える活動を繰り返し行う。また、意欲や自信がもてるように、楽しく、満足感のある課題を設定する。	<b>外国語</b>	言語材料を繰り返し使用する場面を設定し、互いの気持ちや考えを伝え合う、英語による言語活動を充実させ、児童のコミュニケーション力の向上を図る。

### (2) 児童用タブレット端末の活用【市共通】

自分の疑問に沿って調べ学習をしたり、自分に合った進度で学習したりしながら、個別学習していく。また、自分の考えを効率よく友達と共有したり、複数の意見・考えを議論して整理したりして、協働学習する。